

# 夢の本棚

発行所：松居直コレクション  
プロジェクト  
代表：金戸 美紀子  
事務局：石川県小松市  
小馬出町10-3  
空とこども絵本館  
☎ 0761-23-0033  
bookrin@city.komatsu.lg.jp

【活動方針】①絵本の楽しさを伝える〈親子読書の奨励〉②絵本の歴史を学び、進むべき方向を考える〈絵本文化の研究〉  
③市が所有する知的財産として、次世代に正しく伝える〈絵本文化の継承〉

## 「じじいものとも」を彩る作家と画家たち③

〜型破りな作品に型破りな画家を〜

### 絵描きは山中春雄さんに

◆絵本にする時に山中春雄という絵描きさんを選んでください。この人は油絵画家で、行動美術というグループがあります。そこへ油絵を出してらっしゃる方、それから産経新聞なんかにかットのようなものを書いてらっしゃる。◆私は行動美術展で山中さんの作品を見て、とても感心したんです。かなり大きな油絵、ほとんどモノクロームで描いてありましたが、男の人が一人立っているだけの油絵でした。◆山中さんはパリに2年ほど勉強しに行ってきた方だということを知りましたし、ビュフェの影響がとても強いんだなあということを知った時に思いました。◆そして、デザイン力がとてもある人だ。しかし、

そのデザインが固くなくて、線は非常に鋭い線がかいてらっしゃるんですけれども、何かこの語りかけてくるものがある。そして、ほんとに人物をとってよく見ている。それをとらまえて自分で表現してらっしゃる。◆人の真似じゃなくて独特の表現力を持った人だなあと思ったもんですから、それまでほとんど行き来はなかったんですけど、あれども、山中さんにお会いして「絵本を描いてください」と申し上げたら、「自分も絵本は描きたいと思っていました」ということで、この当時としてはほんとに珍しい描き方で1冊絵本を描いてくださったんです。

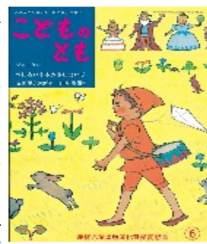
### 実は絵にはモデルが

◆これを描いて原稿を私に渡してくださる時

に「これは実はモデルがあるんですよ」とおっしゃったんです。「何ですか」と言ったら、「シンガポールの動物園なんです。シンガポールの動物園に行ったイメージが、ここに表現されているんです。」ってなことで、絵描きさんてのは、いろんな経験をして、それをどう表現するかってことをとっても考えていらっしゃる。そういうことで、山中さんは最初の作品を描いてくださった時、まだ30代だったと思います。◆佐藤義美先生なんかは、これをとっても新しい絵本ということをおっしゃっておいりましたし、私も、日本にはこういう絵本がないので、これで何とか少し道が開けるかな



岸 なみ編/山中春雄画  
27号/1958年6月号



D.S. ジョーダン作  
吉田甲子太郎訳/山中春雄画  
15号/1957年6月号

### 好評を博した描画

あという感じを持ったんです。◆山中さんは大阪の方なんですけれども、大阪の持っている、関西の持っているセンスをかなり良く持っている方なんです。私も関西人ですから、一緒にこれからお仕事ができるなあと思ひにしております。

### ベルナルド・ビュフェ

1928年パリ生まれ。第二次世界大戦後の具象絵画の代表的な画家。硬質で鋭く太い針金のような輪郭線、モノトーンに近い色彩を特色とする独自の様式を築き、

その画面には人物の不安定な表情、第二次世界大戦後の作者の心象が透き通っている。1973年、静岡県長泉町に美術館が開館した。

（つづく）

亡くなってしまったんです。ですから、ほんとに残念だと思いましたが、寺村輝夫さんの作品をこれです。★松居氏は「この絵本を見て、長新太さんは自分にも絵本が描けるかもしれないと思ったそうです。もし亡くなっていなければ、もう一度単行本にする時に山中さんに描いていただけたのですが」（「松居直と『こどもものとも』」ミネルヴァ書房刊）とも語っています。